

地震発生！災害時の対応

揺れた

- 身の安全を確保
 - ・頭を守り揺れがおさまるまで待つ
 - ・安全に消せる場合は火を消す
 - ・家具や家電の転倒や落下、ガラスの破片などに注意



安全にすばい避難行動をとるためにも、自宅の耐震化や家具転倒防止対策は日頃からしっかり進めておきましょう



まず低く 頭を守り 動かない

丈夫な机がない時は、クッション、かばん、ナベなど身近にある物で頭を守りましょう

揺れがおさまった

- 火が出たら初期消火
- ガスの元栓を閉める・ブレーカーを落とす
- 怪我をしないように靴やスリッパをはく
- 家族の安否・家屋の被害状況の確認
- 出入り口の確保
- ラジオやスマートフォンなどから正しい情報を入力
- 非常持ち出し品の準備

地域には、町内会・自治会単位に結成された自主防災組織があり、災害時に初期消火・救出救護等の活動を行います。地域の被害を小さくするため、自主防災組織の活動にご協力をお願いします。



大津波警報発令 避難指示(緊急)発令

高台や津波避難ビルを 目指して避難開始

津波警報解除 避難指示(緊急)解除

災害の危険解消

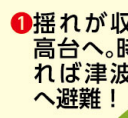
自宅での滞在が可能か



在宅避難

避難先へ

津波から安全に避難するための5つのポイント



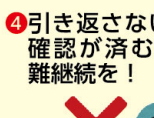
①揺れが収まったら高台へ。時間が無ければ津波避難ビルへ避難！



②原則徒歩で避難！



③高齢者や障がいのある方などの避難誘導を！



④引き返さない。安全確認が済むまで避難継続を！



⑤海岸や川沿いは絶対に近づかない！

津波警報・注意報の種類

種類	発表基準	発表される津波の高さ		想定される被害と取るべき行動
		数値での発表 (津波の高さ予想の区分)	巨大地震の 場合の発表	
大津波警報	予想される津波の高さが高いところで3mを超える場合	10m超 (10m<予想高さ)	巨大	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。 沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
津波警報	予想される津波の高さが高いところで1mを超え、3m以下の場合	10m (5m<予想高さ≤10m) 5m (3m<予想高さ≤5m)	高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。 沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
津波注意報	予想される津波の高さが高いところで0.2m以上、1m以下の場合で、津波による災害のおそれがある場合	3m (1m<予想高さ≤3m)	(表記しない)	海の中では人は速い流れに巻き込まれ、また、養殖いかだが流失し小型船舶が転覆します。 海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れてください。

避難情報の流れ

避難行動で大切なことは、冷静に行動することです。パニックにならないよう、何をすべきか考えておきましょう。

情報の違いを理解しておきましょう。

高齢者等避難

警戒レベル3

避難に時間のかかる高齢者や障がいのある人は、**警戒レベル3 高齢者等避難**で危険な場所から避難しましょう。

避難指示

警戒レベル4

避難勧告は廃止されます。これからは、**警戒レベル4 避難指示**で危険な場所から全員避難しましょう。

緊急安全確保

警戒レベル5

警戒レベル5は、すでに安全な非難ができず命が危険な状況です。**警戒レベル5 緊急安全確保**の発令を待ってはいけません！

一人では逃げられない方への対応

過去の災害では、周囲からの「声かけ」と「避難の手伝い」が、下記のような高齢者や障がいのある方などの避難行動を早めました。日頃から一人で逃げられない方を把握し、地域みんなで、いち早く避難行動が取れるよう協力しましょう。

情報の入手や判断が難しい方

(対応方法)

(例えばこんな方)

目が見えない方、耳の聞こえない方、認知症の方、知的障がいのある方、日本語が苦手な外国人、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯など



優しい言葉でゆっくり声かけ



メモや、身振り手振りで伝える

移動が難しい方

(例えばこんな方)

普段から杖、押し車、車椅子などを使っている方、寝たきりの方、けが人、病人、妊娠中の方など

(対応方法)



複数で手伝う



身近にあるものを利用する

安否確認

●安否を確認する手段をあらかじめ決めておこう●

電話 災害用伝言ダイヤル(171)の使い方

録音方法

1 7 1

録音は 1

ガイダンスが流れます

被災地の電話番号を市外局番から入力

1 伝言を録音

9 終了

再生方法

1 7 1

再生は 2

再生

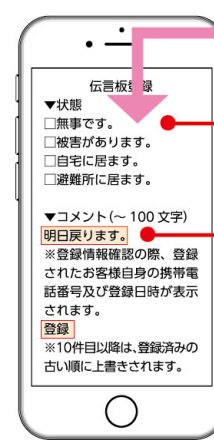
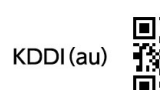
8 もう一度

9 別の伝言 / 終了

【注意】登録できる電話番号(被災地電話番号)
災害により電話がつながりにくくなっている地域の固定電話の番号および携帯電話・PHS・IP 電話の電話番号。
なお、固定電話の番号は市外局番から入力していただく必要があります。

携帯電話 / スマートフォン 災害用伝言板の使い方

各社の災害用伝言板サイトアドレス



登録

現在の状況を4つの中から選択したうえで、必要に応じてコメントを入力

※画面はイメージです。



確認

安否を確認したい人の携帯番号を入力して検索

●災害時に警戒レベル、避難指示等の情報を 受け取るために登録を！

蒲郡市安心ひろめーる

QRコード読み込み、または下記のメールアドレス宛へ空メールをお送りいただく登録できます。
gamagori@entry.mail-dpt.jp
登録メニューから「気象情報」、「緊急・重要情報(広報の屋外放送内容)」を選択して登録してください。

防災アプリ yahoo! 防災速報

スマートフォンにダウンロードしていただくと、さまざまな災害情報がプッシュ通知で自動的に送られてきます。防災・減災情報も満載の、非常に便利なアプリです。

蒲郡市公式LINE (ライン)

QRコードを読み込み、または「友だち検索」で蒲郡市のアカウント名「@gamagori.city」から友だち追加してください。

登録後、LINEの画面上にある「受信設定」機能から「緊急情報(防災・安全安心)」を追加登録すると、安心ひろめーると同じ内容をLINEで受け取ることができます。

災害に備える

平常時に行う対策

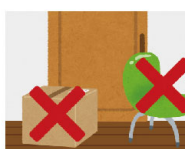
- 自宅家屋の耐震強度の確認、改修
- 周辺地域の環境から予想される災害の確認とその備え
- 避難場所等・避難ルートの検討(実際に歩いて状況を確認する)
- 幼児や高齢者等の避難に誰が付き添うか

家の中の安全対策

- 安全なスペースを確保する
- 寝室や子ども・高齢者がいる部屋には、倒れそうな家具を置かない



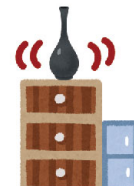
- 出入り口や通路にはものを置かない



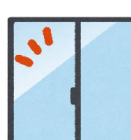
- 家具の転倒や落下を防止する対策を講じる



- 高いところに物を置かない



- 窓ガラスに飛散防止フィルムを貼る



自宅での 備蓄品

自宅のストックルームや庭の倉庫等に、家族の1～2週間分の食料や生活必需品を常にストックするようにしましょう。内容は、普段から多めに買い置きしている食料や生活必需品をベースに、さらに非常食をプラスします。食料や調理器具はキャンプ用品と兼用で備えましょう。水は、ペットボトルのミネラルウォーターのほか、宅配水のストックも便利です。避難生活が長引いた場合、非常食だけで過ごすのは難しいため、レトルト食品やパスタ等、食べ残した食品も備えると良いでしょう。賞味期限が過ぎた食品は、普段の食事で順順に消費し入れ替えます。



- ・非常食(缶詰、レトルト食品、麺類、米、餅、お菓子等)
- ・水
- ・トイレ用紙
- ・ティッシュ
- ・大型の簡易トイレ

- ・食器
- ・鍋、やかん
- ・カセットコンロ
- ・ガスボンベ
- ・ランタン

- ・テーブルと椅子
- ・レジャーシート
- ・ダンボール
- ・ポリタンク
- ・テント

- ・ライター
- ・マット
- ・ヘッドライト
- ・乾電池(単1～単3 30本)
- ・クーラーボックス

- ・キッチン用ラップ(5本位)
- ・新聞紙(一週間分位)
- ・寝袋
- ・乾電池(単1～単3 30本)
- ・クーラーボックス